指示的意味とP.C.表現

Referential Meaning and P.C. Expressions

長谷川　ミサ子*
Misako Hasegawa

1. 1.　ことばとその指示物

我々は，毎日，朝から晩まで，ことばを聞いて暮らしている．ことばは，我々の生活にくいこみ，密着し，我々の，いわば，血肉の一部をなすに至っているといっても言いすぎではない．ことばと，それによって指し示されるものとの関係も，ほとんど一体化し，通例は，意識されることもない．

例えば，今，我々が「りんご」と言ったとする．すると，我々には，すぐ，それが，赤い果物を指すことばだと分かる．また，実際のりんごを見せられれば，「りんご」ということばを思い浮かべる．こういうとき，「りんご」ということばと，実際の果物とは，密接不利に結び付いている．ことばを言えば，すぐ，実物を思い浮かべ，実際の果物をみれば，すぐ，ことばを思い浮かべる．一方から他方を思い浮かべる際の速さは，電光石火の速さで，そのすばやさがあるから，日本語は，日本語としての働きができるのである．

そんなことは分っている，と思われる方も多いと思われるかもしれないが，本当にそうであろうか．ここで，次の例を考えてみることにしよう．友人と食事をしたあとで，一人の人が，「ケーキでも食べましょうか」と言い，もう一方の人が，「そう，それがいいわ」と言ったとする．この場合，二人とも，「ケーキは食べられる」と思って話しをしているのである．が，「ケーキって，本当に食べられる」ものであろうか．このことを少し考えてみることにする．結論から先に言うと，「ケーキ」というのは食べられないのである．これは，一見，不思議に思われるかもしれない．が，しかし，そのことにごまかしはない．もう一度，我々が，ここで，「ケーキ」と言ったとする．黒板に「ケーキ」と書くことにしてもよい．我々が口で，「ケーキ」と言ったとすると，それは，口から今，出た，あるか，なきかの空気の振動である．空気がちょっと震えるだけのことである．黒板に書いた場合は，チョークの粉のあとである．空気の振動が食べられるであろか．否である．チョークの粉のあとが食べられるであろうか．否である．つまり，「ケーキ」は食べることはできない．

これは，動かすことのできない事実である．が，一見，おかしな感じがする．というのは，我々は，実際にケーキを食べて，おいしいと思うからである．つまり，問題は，「ケーキ」は食べられないとしても，何か食べられるものがあることも否定できない．食べられるものは，「ケーキ」ではなくて，何かということである．

*英語専攻

結論を先に言うと，食べられるのは，「ケーキ」ではなくて，「ケーキ」という空気の振動によって指し示されるものである．ここで，ことばと，それによって指し示されるものとの区別をはっきり理解しておく必要が生ずることになる．この区別は，我々の日常生活においても，極めて重大な結果をもたらすものである．この区別をはっきり理解しないために起る悲劇も少なくない．

1. 2.　ことばと指示物との混同

具体的な例は，数えきれないほどある．が，ここでは，日常生活に深くかかわっていると思われるものを，いくつか取り上げてみることにしよう．まず，食べものの好ききらいに関する問題である．例えば，ここに，海からとれる「カキ」がきらいだという人がいたとする．こういう人は，不幸である．食べた「カキ」がまずくて，以後，「カキ」はまずいものと決め，食べなくなったという場合が多いのではないかと思われる．「ことば」と「それらよって指し示されるもの」という角度から，この問題を考えてみることにする．

まず，注意しなければならないのは，「カキ一般」とか「カキと呼ばれるもの」といった抽象的なものは，実際には存在しないということである．具体的に存在するのは，個々の「カキ」だけである．その数は数えきれないほどあるので，例えば，1998年の11月中に松島湾で取れた「カキ」というように限定することにする．それでも，膨大な数にのぼる「カキ」を，さらに，限定して，例えば，15日の午前に取れたものに限って考えることにする．それに，背番号を付けていったとする．そうすると，「カキ」ということばによって指し示される「もの」は，一つづつ背番号をもった固体であることになる．それらは，一つづつ新鮮さも異なるし，味も全く同じということは考えられない．したがって，1980年の5月に食べた「カキ」が，たまたま，まずい場合であっても，1998年の11月の背番号をもった「カキ」が，同じようにまずいという保証は全くない．食わずぎらいな人というのは，特定の固体に関するただ1回の経験を間違って，他のすべての固体に拡大解釈していることになる．つまり，「ことば」と「それによって指し示されるもの」との関係を正しく理解していないことになるのである．今，目の前にある「これ」は，以前に経験したのとは，「違う」かもしれないということを忘れてはいけないのである．

今度は，対人関係に関する場合をみることにする．ある人が，我々に「私はあなたが好きです」とか，「好きで好きでたまりません」とか，I love you. と言ったとする．この場合，好きだと言われた人は，どういう対応をするのがいいであろか．対応は，人によって様々に異なるであろう．が，相手からI love you.と言われて，すぐ頭がかっとなり，体中が熱くなり，わなわなと震えが出て，あとは，相手の言いなりになってしまうなどというのは論外であろう．けれども，むやみに，拒絶しさえすればよいというものでもない．求められているのは，冷静な判断，慎重な行動であろう．それを行うには，どうすればよいのか，ここで考えておくべき重要なことの一つが，「ことば」と「それによって指し示されるもの」との関係である．すなわち，次のように考えていくことにするのである．I love you.て何だ．それは「ことば」だ．「ことば」というのは空気の振動にすぎない．空気の振動にすぎないものによって，あまりに心を動かされるのは，おかしいし，心もとない．どうするか．それは，そのことばによって指し示されるものを見極め，また考えるのである．ただ，相手の体が欲しいために，I love you.と言っているのだとしたら，この「ことば」によっと指し示されているのは，本当の愛ではないことになる．そこの見極めが必要になってくることになる．

しばらく前，よく話題になっていた「援助交際」という語について考えてみることにする．すでに，言うまでもないことと思われるが，こ

の語によって指し示されるものは，紛れもなく，「売春」という行為である．手元にある国語辞典で，次の語の説明をみておくことにする．『新明解国語辞典』（三省堂）によると，

売春：「女性が金銭のために不特定の男性と性交渉を持つこと」

淫売：「売笑（婦）の卑称．不特定の異性との合体を行なうことによって生計を立てている女」

とあり，また，*Collins Cobuild English Dictionary* (1995) によると，

prostitute: A prostitute is a person, usually a woman, who has sex with men in exchange for money.

harlot: If someone describes a woman as a harlot, they disapprove of her because she is a prostitute, or because she looks or behaves like a prostitute, an old-fashioned word.

とある．

これらの辞書にみられる定義からみても，「援助交際」という語によって指し示される行為が，紛れもなく売春であることは，明白であろう．ただ，「援助交際」のほうには，「売春」にはない，やわらかな響きがある．「ただ，交際しているだけです」というニュアンスである．これが少女たちの良心や罪の意識をまひさせ，平気で売春行為に走り，また，それを，友人たちの前で話題にして恥じない，という風潮を生んでいる．その当時，静岡の高等学校の校長が，新聞社などに対し，「援助交際」という語の使用を控えるよう要望したという記事が新聞に出ていたが，これは，まことに正当な要望であると思われる．「援助交際」というような，やわらかなオブラートに包まれたことばの場合こそ，その語によって指し示されるものをよく見極める必要があるということである．今，「ことば」と「それによって指し示されるもの」との関係について考えてきたが，このことを理解するのに，大変役に立つと思われる話しがある．一休さんのとんちの話の中にみられる．殿様から，びょうぶに描かれた「トラ」の絵を見せられ，「そのトラをしばりなさい」と言われた一休さんは，「はい．そのトラをここに追い出してみてください．そうしたら，しばってごらんに入れます」と一休さんが答えたという話しである．

この話は，「ああ，賢い子供だ．ハッハッハ」でおしまいにされてしまいやすい．が，ポイントは，どこにあると言えばよいのであろうか．この場合は，「トラの絵」と「それによって指し示されるもの」という関係を考えればよいことになる．比例式でいうと，ケーキということば：そのことばによって指し示されるもの＝トラの絵：トラの絵によって指し示されるもの，という関係である．「ケーキ」ということばは食べられないが，それによって指し示されるものは食べられるというのと同じように．「トラの絵」は，しばることができないが，それによって指し示されるものは，しばることができるということである．この関係を直感的に見破ったところに一休さんの鋭い頭の働きがあったということができる．

もう少し混み入った問題を考えてみることにしよう．ある会合などの席で，自分の意見を述べた時に，別の人から，「でも，その御意見は，民主主義に反するものではありませんか」と反ばくされたとしてみよう．一般に，民主主義に反対することはできない．したがって，「あなたの言うことは，民主主義に反しています」と言われると，たいていの場合，黙ってしまうしかないことになる．どうしたらよいであろうか．我々の問い返しうる質問は，こうである．

「あなたの民主主義ということばによって，指し示されているものは，何ですか」と問い返すのである．これは，ある程度，「民主主義」という語の意味を尋ねていることになる．そうすると，「意味とは何か」という途方もなく大きな問題にぶつかる．「意味とは何か」というのは，言語学の大きな問題の一つで，ここで正面切って考えていくのは困難である．したがって，「ことば」と「それによって指し示されるもの」という問題との関連で，特に注意すべき

であると考えられることを二・三考えておくことにする．まず，注意しなければならないのは，ことばの意味とは，「そのことばによって指し示されるもの」ではないということである．もしも，意味が，「その語によって指し示されるもの」であるなら，「ケーキ」という語の意味は，食べられることになる．それは，おかしい．そんなことはない．また，「かっぱ」というのは，何も意味をもたないことになる．「かっぱ」という語によって指し示されるものは，現実には，存在しないからである．抽象的な概念も，それらによって指し示されるものはないのであるから，みんな無意味ということになる．

1. 3.　指示物と語の意味

ここで，意味とは何かということを，最も簡単な場合を例にとることによって考えてみることにしよう．例えば，「三角形」という語は，どういう意味のものかという問題である．結論的に，正しいと思われる定義を述べることにする．「三角形」の意味とは，「あるもの（図形）が三角形という語によって，正しく指し示されるために備えていなければならない条件の集合である」．この場合の条件の集合を規定することは，比較的簡単である．3本の線によって形造られる図形であると言えばすむ．この条件さえ満たしていれば，あとのことは問わない．例えば，材質は，紙でも，石でも，スプレーでも，空気でもよい．飛行機雲が三角からなる図形を造れば，それは，三角形である．三つの角の大きさや，辺の長さも問題にはならない．これと同じように，「民主主義」という意味は，ある状況が民主主義ということばによって正しく指し示されるために備えていなければならない条件の集合であることになる．が，これを規定することは極めて困難である．これは「民主主義」という語が意味をもたないということを意味するものではない．人々が，「民主主義」という語を，そのように，すなわた，その条件の集合が規定しにくいように用いているというだけのことである．意味のぼんやりした語はたくさんある．それは，そうゆうことばを用いている我々の責任であって，ことば自体の責任ではない．ましてや，定義の責任などではない．

そういう例を少しみていくことにする．「お年をめした方」，とか「中年の方」というのは，具体的に何歳何か月以上の人のことをいうのであろうか．国語辞典をみると，「中年」の具体的な年齢は辞書によって，微妙に異なる．『新選国語辞典』（小学館）には，「40歳前後から50代前半にかけての年齢」と書かれており，また，『大辞林』（三省堂）では，「40歳前後から50歳後半のあたりまで」と記されている．テレビニュースなどでは，何歳ぐらいの人を指しているのであろうか．何をどのように調べても分からないはずである．「大きめの方」というのは，何キロ以上の人のことをいうのであろうか．さらに，別の例をみることにする．「そういうことになるなら，我が国としても，重大な決意をしなければならないであろう」というとき，重大な決意とは，何を指すのであろうか．だれも決定的に述べることはできない．

そういう意味が，あいまいな語，すなわち，その後の指示的条件がはっきりしない語に対しては，どのように考えたらよいであろうか．人によっては，意味のはっきりしない語は，使ってはならないという人もいる．また，言うべきことは，いつも，はっきり言いなさい．と言う人もいる．が，これでよいのであろうか．が，こういう態度は，いつも，正しいとは限らない．確かに，はっきりものを言うべきときに，はっきり言わないのはよくない．が，いつでも，どこでも，はっきりと言わなければならないと考えるのは，間違いである．あいまいな表現には，それなりの使い道があるからである．以下，いくつかの具体的な例を考えてみることにする．

ある国が，その外交交渉のなかで，「もし，そういう状況に，たち至ったならば，我が国としても，重大な決意をしなければならないことになるであろ」と言ったとする．「重大な決意」というのは，あいまいな表現で，何を意味する

か，はっきりしない．が，これを「戦争を決意する」と言ったとしたら，どうであろうか．意味は，確かに，はっきりする．が，これでは，動きがとれなくなってしまう．交渉の余地がなくなってしまうのである．

デパートの洋服売り場で，「大きめの方向き」とか，「お年をめした方には」などのことばが用いられることがある．こういう場合，「大きめの方」というのは，何キロ以上の方なのか，とか「お年をめした方」というのは，何歳何か月以上の人のことか，などと詰め寄る人がいたら，それ以上，話は進まなくなるであろう．

「今学期の成績，お宅の坊ちゃま，いかがでしたか」と問われ，「まあまあでした」と答えたとする．こういう場合，「まあまあとはどういうことですか．4が1つで，あとは全部3ということですか」というようにたたみかける人がいたら，会話も，友情も，そこで切れてしまうであろう．

「どちらへ」，「ええ，ちょっとそこまで」などの場合も同様である．「どうも，どうも」ということばをよく日本人が使うと外国人が言う．こういう例をいくつか考え合わせると分るように，あいまいな表現は，あいまいであるために，人間関係が，いわば，摩擦を起こさず進んでゆくのである．あいまいであるために困ることもあるが，あいまいであるためにみんなが救われるという場合もあるということになる．

結局，どういう場合に，あいまいな表現が許され，どういう場合に，確な表現が要求されるのか，それをよく見極めて，ことばを使用することが必要であるということになる．

「ことば」と「それによって指し示されるもの」との関係から出発し，その区別が極めて重要であること．ことばの意味と，その語によって指し示されるものとは，同じでないこと．ことばの意味というのは，その語によって正しく指し示されるために，あるものが備えていなければならない条件の集合と考えるのがよいということ．意味があいまいな語というのは，たくさんあり，それらが人間生活の潤滑油の働きをしており，我々の生活にとって極めて有用なものであることがある．などのことを述べてきた．

2. 1. P.C.表現について

以上,言語表現とそれによって指し示されるものとの関係について考察を進めてきたが,このような考察が直面しなければならない問題にP.C.表現の問題がある．P.C.というのは，politically correctの頭文字をとった略語で，この略号自体，現在では広く行われているもので，一般辞書にも採用されている．例えば，*Random House Webster's Unabridged Dictionary* (1997) では，次のようになっている．

politically correct: marked by or adhering to a typically progressive orthodoxy on issues involving esp. race, gender, sexual affinity or ecology

また，『小学館ランダムハウス英和大辞典』(1994) には，

politically correct:「〈言葉や表現が〉政治家が口にできる，差別的でない，偏見を含まない」

とある．さらに，『研究社リーダーズ英和辞典』(1999) には，次のようなことが記されている．

politically correct → politically correctness:「政治的公正《従来の欧米の伝統的価値観や文化が西欧・白人・男性優位であったことの反省に立ち，女性や，アジア系・アフリカ系・ラテンアメリカ系などの住民，アメリカインディアン，同性愛者などの社会的少数派の文化・権利・感情を公正に尊重し，彼らを傷つける言動を排除しようとすること》」

この略号は，そのまま直訳すれば，「政治的に正しい」となるが，本来，意図しているのは，「政治家が公の場合に用いても（差別用語として）非難されることがない」というほどの意味である．

差別表現には，人種などに関係するものもあるが，現在，最も大きな社会関心事となってい

るのは，性差別とよばれているものであろう．英語では，一般にsexismという語が用いられている．手元の辞書をみると，*Random House Webster's Unabridged Dictionary*（1997）では，次のようになっている．

sexism: 1. attitudes or behavior based on traditional stereotypes of sexual roles 2. discrimination or devaluation based on a person's sex, as in restricted job opportunities; esp., such discrimination directed against woman.

また，*Collins Cobuild English Dictionary*（1995）には，

sexism: Sexism is the belief that members of one sex, usually women, are less intelligent or less capable than those of the other sex and need not be treated equally. It is also the behaviour which is the result of this belief.

とあり，『小学館プログレッシブ英和中辞典』（1998）には，

sexism:「（職業・政治などの）性による偏見，女性差別」

という訳語があたえられている．

しかし，本来的には，こういうsexismという語の用法は，正しくないと思われる．男性・女性という性の違いは，生物界に存在している事実であるにすぎず，差別ではないからである．差別が問題とされるのは，社会的な地位や文化的な役割が，いわれなく，特定の性と結びつけられるところに存すると考えられるからである．したがって，より正確な表現としては，sexismよりは，genderismという語を用いるべきところであろう．

アメリカにおいて，男女性差別表現が，問題になってきたのは，1960年代からであるとされている．が，この問題は，時代とともに，ますます先鋭化され，ますます大きな社会問題化するに至っている．手引書もかなりいろいろと出回っていると思われ，例えば，*The Official Politically Correct Dictionary and Handbook*（1993），や*The Bias-Free Word Finder: A Dictionary of Nondiscriminatory Language*（1992）などといったものがあり，一般の辞書でも広く採用されている．特に，*Random House Webster's Unabridged Dictionary*（1997）や，これを下敷きにしている『小学館ランダムハウス英和大辞典』（1994）は，P.C.用語が広く採用されている．まず，典型的な例を一つみておくことにしよう．「議長，学科長」などは，男性でも女性でもよい．したがって，これを男性形であるchairmanで表すのは，P.C.ではない．単に，chairというか，chairpersonを用いるべきであるといった趣旨である．同様な例は枚挙にいとまがないほどあるが，その中から気のついた例を拾って，以下に示しておくことにする．

2. 2.　P.C. 表現の具体例

businessman	→	businessperson
doorman	→	door attendant, doorkeeper, doorperson
fireman	→	firefighter, fireperson
freshman	→	freshperson
mailman	→	mail carrier, mailperson
manhole	→	personhole, sewer hole, streethole, utility hole
man-of-war	→	battleship, warship
manpower	→	human resources
milkman	→	milk deliverer, milkperson
ombudsman	→	ombudsperson
one-man-show	→	one-person show
queen	→	ruler［一般に，差別語とはされない．ただし，性の差別を伴なわない表現が必要とされる場合には，

ruler の形が用いられる.]

salesman → salesclerk, salesperson

snowman → snow figure, snow person

spokesman → spokesperson

sportsman → sportsperson

statesman → statesperson, political leader

window → surviving spouse [もしも，強いて統合形を求めるとすれば，それは window となるであろう．対応する男性形は，windower であり，男性形が，女性形から派生されているのは，(bridegroom は別として) widower の場合に限られるからである.]

上のリストは，極めて限られたものであるが，それでも，ある種の傾向は，十分にみてとることができる．例えば，-man で終わる語の -person を用いる強い傾向がみられる．chairperson, spokesperson, ombudsperson 等々．one-person show や snow person などは，まあがまんするとしても，personhole などは，首をかしげる．cameraperson よりは，photographer のほうが落ち着がよい．

女性形としての接尾辞をもつ poetess, authoress などは，「二流の，へぼの」という含意をもつという理由で，20 世紀の早い時期から用いられなくなった．stewardess にそういう含意があるとは思われない．が，P.C.の用語としては，flight attendant によって，取って代わられようとしている．女性専用の職業ではないからという理由による．doctress の代わりには，woman doctor と思われるが，これも，doctor に統合されるのかもしれない．が，ただ，患者の立場からすれば，自分が診療を受ける医者が，女医であるかないかということは分かっているほうが便利で，ありがたいということは当然あると思われる．

actress に軽蔑の意味はない．しかも「主演女優賞」というような場合には，どうしても「女性である俳優」と特に示す語が必要となる．actress を actor に統合しても意味がないことになるのではないか．『小学館ランダムハウス英和大辞典』(1994) には，herstory という語が見出し語として載せられてる．この語は，男性中心の history に対し，特に，女性中心の歴史を指す語として新造された語である．が，ここまでくると，明らかに，行き過ぎであるといってよい．このような論法でゆくと，次のような -man を含む語も -man を含まない形によって，代えられなければならなくなるであろう：cousin-german (実のいとこ)，human, lowman, shaman (巫女), talisman (お守り).

2. 3. P.C. 表現と指示的意味

2.2.のような，いわゆる男女性差別表現の撤廃という大きな潮の流れは，我が国にもおしよせてきている．特に，平成 11 年 4 月，男女雇用機会均等法が法的に施行されるのに伴い，この動きは，急速におし進められ片仮名のカメラマンは「写真記者」に，サラリーマンは「オフィスワーカー」によって取って代わられようとしている．けれども，すでに，みてきたように，この現象を，語とその指示的意味という観点からみれば，名称を変えても，それによって指し示されるものそれ自体が変るわけではない．chairman を chairperson に代えても，それによって指し示されるものに変化が生ずるわけではない．poetess を poet と呼ぶことにしても，それによって，例えば，二流の詩人が，一流の詩人に格上げされるわけではない．

ただ，差別的表現をなくすことによって，人々の受ける感じが変わってくるということはあるであろう．一部の人々に不当に与えてきたかもしれない不快感を取り除くという効用はあると思われている．しかし，そのようにして生じた P.C.表現も，時が経つにつれ，また，別の P.C.

表現を必要とするに至るということも十分にありうる．ある種のタブー表現の変遷を考えてみるだけでも，このことは容易に察せられるであろう．ある表現が，不快な，あるいは，軽蔑的な含意を伴うか伴わないかというのは，その表現の責任ではなく，その表現によって，指し示されるものが負うべき責任なのである．このことを十分に考慮に入れ，真にP.C.表現を必要とする場合と，無意味な周辺的な場合とを区別し，P.C.表現の無用な氾濫は防ぐべきであろう．

References

Beard, H. and C. Cref (1993). *The Official Politically Correct Dictionary and Handbook.* Villard Books

Flexner, S.B.(1997). *Random House Webster's Unabridged Dictionary, Second Edition.* New York : Random House

金田一京助，佐伯梅友，大石初太郎，野村雅昭（編）(1990).『新選国語辞典』第6版．東京：小学館

金田一京助，柴田武，山田明雄，山田忠雄（編）(1992).『新明解国語辞典』第4版．東京：三省堂

小西友七，安井稔，国広哲弥，堀内克明（編）(1994).『ランダムハウス英和大辞典』第2版．東京：小学館

国広哲弥，安井稔，堀内克明（編）(1998).『プログレッシブ英和中辞典』第3版．東京：小学館

Maggio, R.(1992). *The Bias-Free Finder : A Dictionary of Nondiscriminatory Language.* Boston : Beacom Press

松田徳一郎（編）(1999).『リーダーズ英和辞典』第2版．東京：研究社

松村明（編）(1995).『大辞林』．東京：三省堂

Sinclair, J. (1995). *Collins Cobuild English Dictionary.* London : HarperCollins Publishers.